※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	詳述歴史総合　（実教出版）						
副教材等	新詳歴史総合　（浜島書店編集部） 要点整理ゼミナール歴史総合（浜島書店編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に近現代史を中心に授業を行う。様々な歴史的資料やデータを通して、歴史の大きな流れをつかんでいきたい。
講義だけでなく、調べ活動、グループワーク、レポートの作成などを通して、歴史をより柔軟に、多角的な視点から考察してもらいます。

2　学習の到達目標

日本史と世界史を関連付け、世界史の中の日本史をとらえる。特に近代史以降の歴史的事象から、現代に生きる我々が直面する諸問題を考察することを通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の背景を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（２）近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察・構想したことを説明したり、議論したりする力を養う。
（３）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本の文化だけでなく、異文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・人物名や出来事などを覚えるだけでなく、それぞれの因果関係やつながりを含めて理解しようとしている。 ・様々な歴史的資料に目を通し、それらを活用しながら客観的に歴史的事象を理解しようとしている。	・歴史上の出来事などに自分の意見や考えを持ち、意見や考えを他者に伝える力が身に付いている。 ・近代化、国際秩序の変化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性を考察し、表現できる力が身に付いている。	・「過去を知ること」は「今を知ること」のみならず「未来を知ること」にもつながり、歴史を通して、現在の諸問題について考え、答えは出ないかもしれませんが、その解決に向けて何をすべきかを考えようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１編近代化と私たち	近代化への問い 第1章 近代化への胎動	a:15 世紀から 18 世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解する。 b:アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、出来事から、現代の諸課題について思考する。 c: 前近代の日本と世界の歴史的変化に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や理解を深める。	定期考査 授業プリント	定期考査 授業プリント 発問評価	授業プリント グループワーク 振り返りプリント
		第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	a: 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 b:欧米諸国の出来事と現代の人類が抱える課題との関係を比較し、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、どのような影響を与えていたのかをデータを用いて考察する。	定期考査 授業プリント 小テスト プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント ペアワーク 振り返りプリント
		第3章 アジアの変容と日本の近代化	a:幕末の動乱から日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定など日本社会の変化について理解する。 b:産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目し、データや資料を活用してアジア諸国とその他の国や地域の動向を考察する。 c:19 世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について現在の日本の諸問題との関係について多面的・多角的に考察する。	定期考査 授業プリント 小テスト プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント ペアワーク 振り返りプリント レポート提出

※令和４年度以降入学生用

2学期		第4章 帝国主義の時代	a: 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、欧米列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 b: 帝国主義政策の背景とその特徴、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響、明治時代における日本の社会の変化を比較するなど、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、考察する。 c: 19 世紀末～20 世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、日本の社会が抱える諸問題との因果関係について考える。	定期考査 授業プリント 小テスト プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント ペアワーク グループワーク 振り返りプリント
	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	a: 第一次世界大戦の展開とそれが世界に与えた影響、第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。また、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 b: 第一次世界大戦の推移とその他の国や地域の動向や社会の変化ついて考え、それが世界にどのような影響を与えたのかを理解する。特に日本の立場から見た当時の世界状況について考察する。 c: 1910～1920 年代の歴史の変化に関わる諸事象について、特に日本の社会の変化について考える。	定期考査 授業プリント 小テスト プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント ペアワーク グループワーク 振り返りプリント レポート提出
3学期		第6章 経済危機と第二次世界大戦	a:世界恐慌から第二次世界大戦までの流れや社会の変化や、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 b: 経済危機の背景と影響、各国の世界恐慌への対応の特徴や当時の資本主義に与えた影響について考え、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察する。 c:第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、当時の日本の置かれた状況を多角的な視点から考える。	定期考査 授業プリント 小テスト プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント ペアワーク グループワーク 振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

	第３編　グローバル化と私たち	グローバル化への問い 第7章 冷戦と脱植民地化	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長など、国際政治の変容を理解している。 b:地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目するとともに、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因など新たに生じた問題について考える。 c: 1950～1970 年代の歴史の変化に関わる諸事象について、日本だけでなく世界全体も含めた多角的な視点で考察する。	定期考査 授業プリント 小テスト プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント ペアワーク グループワーク 振り返りプリント
		第８章 多極化する世界	a: 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展など世界各国の動向について理解する。 b: アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などを考察する。 c: 1970～80 年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、多角的な視点で考察すると同時に、日本は世界にどのようにかかわっていくべきかを考える。	定期考査 授業プリント 小テスト プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント ペアワーク グループワーク 振り返りプリント
		第９章 グローバル化と現代世界	a: 冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応など、グローバル化していく世界の動向を理解する。 b: 冷戦の変容と終結・民主化・地域統合・地域紛争の背景と影響などから地域的な課題や日本の役割などを考察する。 c: 1989 年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に、グローバル化する世界における日本の役割について考える。	定期考査 授業プリント プリント提出	定期考査 授業プリント 発問評価 プリント提出	授業プリント グループワーク

※令和４年度以降入学生用

		現代的な諸課題の形成と展望	a:近現代における戦争を防止する国際的な取り組みの経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 b: 近現代における戦争を防止する国際的な取り組みの背景や原因，結果や影響などを考える。 c:「戦争の防止への国際的取り組みの歴史的経緯と課題」という主題に対して，レポートにまとめ，相互に説明したり意見を聞いたりすることにより，考察を深め，現代の社会問題の解決に生かそうとする。	定期考査 授業プリント プリント提出	定期考査 授業プリント レポート	ペアワーク グループワーク レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度